

自己評価票

自己評価は全部で100項目あります。

これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。

項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目の や 等)から始めて下さい。

自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したのものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。

自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点] (アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(1から 87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(88から 100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	ホームケアー佐保
(ユニット名)	ホームケアー佐保
所在地 (県・市町村名)	奈良市法蓮町545-4
記入者名 (管理者)	塩田純子
記入日	平成 20 年 4 月 4 日

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
<input type="checkbox"/>	地域密着型サービスとしての理念 1 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	[個]の尊厳、一人ひとりの個性を大切にの理念を作りあげている		運営推進会議などを通じ交流を図り地域の方々々に理解を深めていきたい
<input type="checkbox"/>	理念の共有と日々の取り組み 2 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を元に研修を行ない実践に取り組んでいる		全職員で入職時や施設内研修で繰り返し伝えと共に、日々の実践の中で取り組んでいきたい
<input type="checkbox"/>	家族や地域への理念の浸透 3 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	玄関に[安心、信頼、快適]の理念が明示され文章でもわかり易く掲示されている		地域の近隣の方々々に理解して頂けるよう自治会などに働きかけていきたい
2. 地域との支えあい				
<input type="checkbox"/>	隣近所とのつきあい 4 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	入居者と散歩をしている時など、挨拶を交わしたりお声をかけていただいたり、気軽に接して頂ける様努めている		気軽に立ち寄って頂ける様な雰囲気作りに取り組んでいきたい
<input type="checkbox"/>	地域とのつきあい 5 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会長さんへの挨拶や運営推進会議への参加をお願いしている		町内会での行事に参加し何らかの形で貢献できればと検討している

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	具体的な活動は出来ていません		地域におけるグループホームの役割を職員間で話し合い地域に貢献できることはないか検討している
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	調査報告書を元に具体的な改善に取り組んでいる		より良い改善に向けて取り組んでいきたい
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	市の担当者、利用者の家族の参加によりサービスの実際や評価への取り組み状況についての報告、意見交換を行っている		近隣の方々にもっと積極的に出席して頂ける様はたらきかける
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の社会福祉課など手続きでお世話になる事も多く電話やFAXだけでなく直接ご挨拶できるよう心がけています		研修会などにも積極的に参加し、市町村との連携を深めていきたい
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	研修に参加し資料を職員に回覧し理解を促している		施設内研修会などで取り上げるなどして勉強の機会を持ちたい
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修やミーティングなどを行ない虐待が行われないようつとめている		定期的な施設内研修を続けていきたい

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>事前面談の段階から、契約内容をわかり易く口答や書面による説明を行っている</p>		<p>入所されてからも不明な点や疑問があればいつでも尋ねて頂き説明を行っています</p>
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>常に話し易い雰囲気を作り、利用者が意見や不満を表せるように努め、運営に反映させている</p>		<p>意思表示が出来ない方へのアプローチを細かく行いケアに反映させていきたい</p>
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>1ヶ月毎にご家族に対し書面や写真により近況報告を行ない、個々に合わせた報告は適時電話連絡を行っている</p>		<p>健康管理については、その都度家族に詳しく相談報告を行っている</p>
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族の訪問時には気軽に声をかけていただける雰囲気作りに努めている</p>		<p>運営推進会議等への参加を促し、多くの意見をいただける機会をもうけていきたい</p>
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>定期的にミーティングやケアカンファレンスを行いサービス向上に取り組んでいる</p>		<p>施設内研修を充実させケア理念の具体化とサービスの質の向上に取り組んでいきたい</p>
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>緊急時対応なども視野に入れ本社との連携により必要な職員の確保が行われている</p>		<p>夜間一人体制の場合近隣在宅の職員が対応します</p>
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>やむを得ず異動や離職する以外ではできるだけ馴染みの職員と長く生活して頂けるよう配慮している</p>		<p>職員のスキルアップのために併設事業所への異動を計画的に行っていく</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	段階に応じての外部研修を積極的に受けられるよう取り組んでおり、職場内でもテーマを設けて研修を行っている	管理者育成の為の研修会を毎月本社で行っている
20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	具体的な取り組みはできていません	他事業所への見学や、他事業所からの見学受け入れ等を行い客観的な評価が得られる機会を持ちたい
21	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	特別な取り組みはされていないが、休憩時間にはゆっくりとひとりで過ごせる場所がある。又職員同士でお茶を飲みながらゆっくり会話できる機会を持てるよう努めている	親睦を兼ねた食事会をするなど機会を増やしていきたい
22	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	働きやすい職場を目指し、一人が抱え込まず互いに協力しながら個々の力が発揮できるような環境作りを行っています	職員個々のスキルアップのためのフォローをしていきたい
安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	事前面談の段階から、本人から良く聴く機会を持ち、理解出来るよう努力している	環境の変化に対する不安を少しでも和らげるような対応を心がけています
24	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	事前面談の段階から家族等と話し合う機会を持ち、理解し受け止められるよう努力している	環境の変化に対する不安を少しでも和らげるような対応を心がけています

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	事前面談などにより得た情報などから、本人、家族の了承のもと必要なサービスを提供できるよう努めている		本人の生活歴や物語を大切にしたい個の支援を取り組んでいきたい
26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前から家族同伴で来所していただくなど雰囲気馴染めるよう工夫している		食事やおやつなどの時間を他の入居者の方と共有して頂き、馴染みの場所となるよう取り組んでいきたい
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	それぞれの体験談や地域の伝統行事など、その都度話し合ったり、教えていただいたりと人生の先輩として尊敬の念を持ち信頼関係を築けるように努めている		人生の大先輩として尊敬の念を持ち受け入れ、共感の支援を徹底していきたい
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	出来る限り連絡を密にし、話し合い相談することによって、より良い方法で本人を支えて行けるよう努力している		本人を支えていく上で、より良い関係を築いていけるよう、積極的に働きかけていきたい
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	面会等の機会を利用して本人の状況等も把握し理解して頂けるように努めている		家族との外出や外泊の機会を作り、本人の励みや楽しみを支援していきたい
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族との外出、一時帰宅により、これまでの関係が途切れないよう支援している		過去だけでなく、これからも馴染みの人や場所との関わりを増やせるよう取り組みたいです
31	利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	毎日の散歩やレクリエーション等生活全般において、一緒に行動していただける時間作りをし、関わり合っていただけるよう配慮している		職員は必要以上に介入せず、それぞれの方のペースに合わせた黒子の支援を行っている

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退所されてからも近況報告のため、ご家族がホームに来られたり、電話をしてくださることもある		地域のメンバーとして運営推進会議等への参加を呼びかけていきたい
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	事前面談の時点からより多くの情報を得、ずっと続けておられる「その人らしい暮らし方」が継続できるよう配慮している		生活歴や表情などから思いを汲み取るような支援を取り組んでいきたい
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人、家族より色々な角度から情報を得、生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、サービス利用の経過等の把握に努めている		本人の色々な情報を活用し、その人らしい暮らしを大切にしたい支援を考察していきたい
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	介護記録を詳細に残すことにより、一人ひとりの現状を把握出来るようにしている		それぞれの方が役割を發揮しながら、生活意欲を向上してもらえるようアセスメントを行い考察していきたい
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人、家族の希望を聞く。職員のケアカンファレンス、主治医の意見などを中心に、多くの話し合いの場を持ち、介護計画を作成している		身体に関わるケアだけでなく、その人らしさを引き出す介護計画にするよう心がけている
37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	通常6ヶ月で見直しを行い、大きく心身の状態に変化が生じた場合は、家族や主治医の意見等も交え新たに介護計画を作成している		職員一人ひとりがプランにそったケアが行われているのかも、カンファレンス時にチェックしている

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護見守り記録表や介護日誌、往診記録などに個別に記録し、情報共有や、実践に活かしている		対応した職員の気づきや考えも細かく記録するようにしたい
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	状況に応じてデイサービスの利用や本社との連携により、外出、通院サービスを随時行えるように支援している		本人や家族の要望を少しずつでも実現し、生活意欲の向上に取り組んでいきたい
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	ボランティア、消防、警察、文化等の支援		近隣の地域の方々に協力を頂き、色々なことが支援できるよう取り組みます
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	本人や家族の意向や必要性に応じて保険外でのサービスも行っている		本人や家族の要望を少しずつでも実現し、生活意欲の向上に取り組んでいきたい
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議のメンバーとして参加してもらい意見、アドバイスを頂いている		運営推進会議もスタートしたばかりなので、これから意見の交換、相談対応を行うなど連携をとっていきたい
43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月1回の主治医の定期往診、かかりつけ病院の定期受診を受けられるように支援している		日々の生活状態をきめ細かく観察し、報告することで、各医療機関との連携に努めている

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	診療内科医や精神科医との相談や治療を受けられるよう支援している		神経内科等による認知症の勉強会を家族も交えていきたい
45	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	気軽に夜間、休日を含めて、電話相談ができる		地域の看護職の方にも協力を願い、日常の健康管理への相談が出来るよう取り組んでいきたい
46	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	退院前の情報交換を行ったり、そうした場合に備えて連携できる医療機関を確保している		退院後の受診などについて家族の協力が得られるよう話し合いを行っています
47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	家族との相談及び主治医との話し合いなどにより、方針を共有できるように努めている		医師、家族、本人で話合った内容は文章化して、職員間で共有しています
48	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	日々の密な連携により、かかりつけ医や病院とチームとしての支援に取り組んでいる		利用者の心身の状況変化に応じたカンファレンスとケアの見直しを行い、充実した終末期を迎えてもらえるよう取り組んでいきたい
49	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	介護サマリーに詳しく記入し、住み替え先のケア関係者に情報提供を行っている		入居直後の不安の軽減を図るために、家族とも相談しながら、本人のペースを優先し、ダメージを防ぐよう取り組んでいます

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1) 一人ひとりの尊重			
50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	プライバシーの確保が徹底されるよう努めている。「個人情報の取り扱い」についても十分配慮している	自尊心を傷つけない対応を心がけ取り組みます
51	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	理念である「個の尊厳」を元に支援を行っている。本人の思いや希望を少しでも多く引き出せるような声かけ、説明を心がけている	利用者個別の意見や希望に合った暮らしが出来ているか毎週のケース会議で職員間で確認しています
52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員の都合に合わせるのではなく、個人のペースで介助出来る様に努めている。起床、就寝時間や食事のペース等個々に合わせ援助している	様々な現在で意思疎通が困難な場合でも、その人らしさを汲み取り組んでいきたい
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	その人の好みに合った服装をして頂ける洋服選び、整容の支援をしている。理、美容は本人の望む店に行って頂ける支援や行けない方には訪問理容ができる	お化粧品もしていただき、その人らしいお洒落が出来るような支援を取り組んでいきたい
54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりの体調や状態に合わせて、刻む、トロミをつけるなどの調理方法や盛付けにより、食欲をそそるよう工夫している	それぞれの出来ることを行っていただき、生活意欲の向上に努めています
55	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	現在お酒、タバコを好まれる方はいない。飲み物、おやつは好みの物を購入して頂く機会を作っている	喫煙の支援も行っています

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	<p>気持よい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	<p>毎日の記録をもとに一人ひとりの排泄パターンを把握し、出来るだけオムツの使用を減らせるよう声かけ、誘導を行っている</p>		<p>羞恥心に配慮し、声かけの仕方や介助時の位置など考えた、さりげない援助を心がけています</p>
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>一人ひとりの希望や体調に合わせて行っている。自立度やプライバシーに配慮しながら、見守り、介助が行えるように努めている</p>		<p>一人ひとりの入浴の仕方、自立度に合わせて援助を行い羞恥心とプライバシーに配慮しながら支援を行っています</p>
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	<p>一人ひとりの生活に合わせ、散歩、体操などの活動。短時間の午睡などをして頂けるよう心掛けている。夜間眠れない方には、温かい飲み物を提供し、ゆっくりと会話の時間を取り、落ち着いていただいている</p>		<p>夜間眠れない入居者には、お話を聞いたり、飲み物をすすめたりして、安心できるような働き掛けを行っています</p>
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>趣味を生かしていただく為書道、詩吟、カラオケなどの時間づくり、自立度に合わせ食事準備、洗濯たたみ、食器洗いなどの作業も楽しみながらしていただける様援助している</p>		<p>入居者一人ひとりが、役割意識をもって生活が出来るように、家事活動などに積極的に取り組んでいきたいです</p>
60	<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金を持ち、使える方にはもって頂いているが、本人が所持したり、使ったり出来ない方が多い</p>		<p>本人が使える方にはもっと買い物などの支援をしていきたい</p>
61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>希望により、散歩や本社のデイサービスの参加などができるよう支援している</p>		<p>自宅への帰宅支援も行っていきたいです</p>
62	<p>普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	<p>家族と一緒に外出していただける機会作りや、行きたいところへの職員の同行などもできる様支援している</p>		<p>季節ごとに普段は行けないところに出掛けられる機会をもらえるよう取り組んでいきたい</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望される方には家族の了解を得て、電話をしていただいたり、手紙のやり取りが出来る様に支援している		暑中見舞や年賀状などを家族や知人とやり取り出切る様、支援していきたい
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	家族等の訪問時には、気軽に声をかけ、居心地よく過ごしていただける様に工夫している		訪問された際には、その日の出来事も含め、近況を細かくお伝えしています
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	全ての職員が研修により、理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる		なぜ身体拘束が起きるのか、社会的な背景も含め、今後研修も行っていきたい
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中玄関に鍵を掛ける事の弊害を十分理解しているが、現在は多大な危険が予測される為施錠している事がある。居室は一切施錠しない		鍵を掛けないケアを行う為一人ひとりの行動パターンを把握し、実行出切る様模索している
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	プライバシーに配慮しながら、さりげなく見守りを行えるように工夫している。夜間も行動のパターンを把握しての安否確認を行っている		夜間は特にプライバシーに配慮しながら安全確認を行っています
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	薬品類は専用棚に保管。洗剤や消毒薬、包丁、ハサミ等は利用者の手の届かない場所や目立たない所に保管している		利用者に注意が必要な物品は必ず見守りを行っている
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	ひやりハット、事故報告書を詳しく記入し、全員が内容を把握。ケアカンファレンス時に再発防止に向けて話し合っている		加齢や認知症の進行により、筋力低下や夜間認識の低下による転倒の危険性もあり、様々な状況で起こりうる事故の防止に取り組んでいます

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	マニュアルに沿って職員が応急手当や対応ができるよう研修を行っている		実践に即した訓練を今後は定期的に行うよう取り組んでいきたい
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	昼、夜間別に、年2回(4月、10月)避難訓練を行っている		地域の人々にも協力を得られるよう運営推進会議などを通じ働きかけていきたい
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	一人ひとりの心身の状態の変化に伴ってのリスクについて、家族に説明し、意見交換を行っている		抑圧感のない暮らしを大切にするための環境作りに取り組みたい
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	状態の変化や異変に速やかに対応できるよう、日頃の観察、記録により情報を共有している		敏感に察知し、対応出切る様記録と申し送りを通じ、情報を全員で共有する事を徹底している
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方の内容を把握するよう努めている。薬の形状や服用方法を一人ひとりの状態に合わせ、主治医に相談、指示を得ている		毎食後の服薬担当者はその都度、名前と日付を確認し、最後まで見守りを行っている
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	水分補給(1500ml) 散歩、体操を行っている。野菜を多くしたメニューや牛乳などの飲用。便秘をしやすい方には、主治医の処方による便秘薬を服用していただいている		便秘の方には主治医に相談して指示を仰いでいます
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	一人ひとりの状態に応じた口腔ケアを毎食後行っている。2ヶ月に1度の歯科往診により、口腔ケアの指導指示を得ている		口腔ケアについて歯科衛生士などの協力を得て勉強会などに取り組んでいきたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	1日の摂取カロリーを概ね把握し、一人ひとりの状態によっても注意している。摂取量の少ない方に関しては、摂取回数を増やしたり補助食品(主治医の処方による)を使用している		1日1リットル水分補給を目安に、一人ひとりの状態に応じた支援を行っています。
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	マニュアルが作成されており、それを使って研修を行っている。新しい情報なども取り入れ把握出切る様に努めている		定期的に施設内研修を行い、職員の予防や対応に関する知識を深めていきたい
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	衛生点検表に基づいて確認し、清潔、衛生を保つようになっている。食品の消費期限なども職員が把握し、食の安全に努めている		毎日の掃除とは別に月に2回予寧掃除日を設けています
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	普通の民家と同じく、庭木や花を植えるなど親しみやすい雰囲気を作っている		花などは利用者と一緒に植えています
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	自然な光が入るよう工夫されている。リビングは庭に面しており、四季の植物を見て季節を感じながら過ごして頂けるように配慮している		壁面部のスペースを有効利用していきたい
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テレビ前のソファーや明るい窓辺のソファーなど、期分に合わせて過ごせるような居場所作りをしている		ソファー、椅子、テレビの設置により、自由に過ごせる環境がある

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みの家具や物品を置いて頂けるよう工夫している		居室内は出きるだけ本人の思考に合すような支援をしています
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	リビングの温度計による室温管理をしている(2ヶ所)。居室の窓や入口の戸を少し開けなど、換気に配慮している		職員の声や物腰、テレビの音量などに配慮し、過剰な刺激とならないようにしています
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	内部はバリアフリー、手摺を必要箇所につけている。各居室内も、ペットの高さや、必要最小限のペット柵の利用(手摺としての使用含む)などの工夫をしている		車椅子用トイレが一部しかなく、利用者の重度化に伴い対応を検討していきたい
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	居室の場所、トイレ、台所などわかり易いように工夫している		センター方式C-1-2の用紙を利用し、その人らしさを活かせる支援をしていきたい
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	外出の難しい方が、日当たりの良い廊下で日光浴されたり、中庭には庭木が多く花もあり出て楽しむ事ができる		裏庭で活動が出きるよう取り組んでいきたい

サービスの実績に関する項目

項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
98	職員は、生き生きと働いている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

毎日の散歩等積極的に外出する機会を作っている。健康管理についてはかかりつけ医と24時間体制で連携のとれるようになっており急変時の体制が充実している